

3-3. 道路・河川の補修・維持管理

3-3-1. 道路の補修・維持管理

① 橋梁

旧基準で設計された橋梁の耐震化や長寿命化を目的として、老朽化した塗装の塗替工事、損傷部の補修工事などを実施しています。

今年度は、国道173号 古江橋、受子大橋などで工事を予定しています。



写真-3.17 橋梁耐震化工事例 支承の取替（左：着工前、右：着工後）

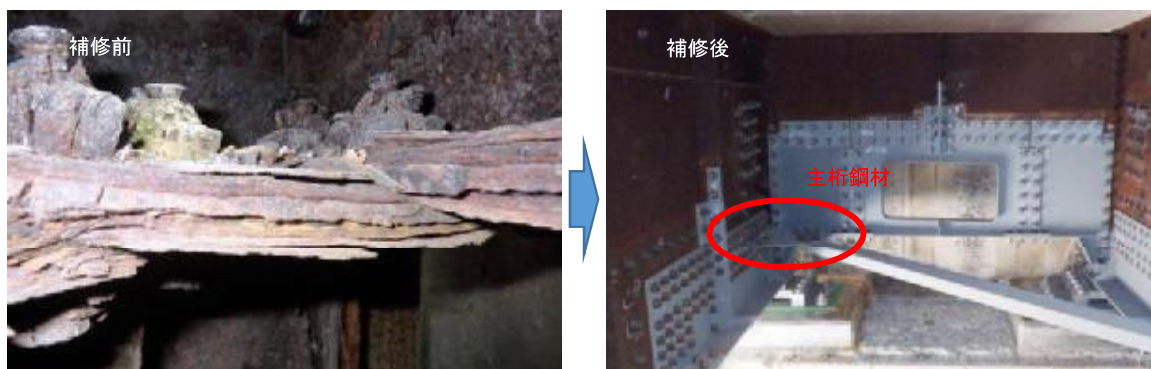


写真-3.18 橋梁補修例 主桁鋼材の腐食（左：補修前（腐食部拡大）、右：補修後）

② 舗装

交通量や路線の重要性、緊急性を考慮して各路線の舗装補修工事を行っています。今年度は、（旧）大阪中央環状線、国道423号、吉野下田尻線、園部能勢線などで工事を予定しています。



写真-3.19 舗装補修 例

③道路防災

落石、崩土などによる道路への被害を未然に防止することを目的として、平成 27 年度に実施した管内全路線を対象とした点検結果に基づき、路線の重要性、緊急性等を考慮して順次対策工事を実施しています。今年度は、国道 4 2 3 号（豊能町川尻）、茨木能勢線（箕面市粟生間谷）で工事を予定しています。



写真-3.20 道路防災工事 例

④照明柱

腐食のひどい照明柱から順次、更新を行っています。今年度は、大阪中央環状線などで工事を予定しています。



写真-3.21 照明更新例（左：照明柱根本腐食、右：更新工事）

⑤街路樹

倒木の危険が高い早期緑化樹や、診断・点検で危険と判断された樹木について、早急に伐採等の対応を行い、令和 2 年度までを目標に更新と補植を行っています。今年度は、西宮豊中線などで工事を予定しています。



写真-3.22 街路樹 診断状況



写真-3.23 街路樹の倒木 例



写真-3.24 街路樹 根上り 例

3-3-2. 河川・砂防施設の補修・維持管理

①河道

5年毎に実施する河道状況調査結果に基づき、河積（河川の横断面で水の占める面積）に対する阻害率と影響度（地先の危険度、人家連担、堤防形状など）から優先順位を決定し、堆積土砂の除去など河道特性に応じた対策を実施しています。併せて河積阻害となる恐れのある樹木の伐採も行っています。

今年度は、山辺川、一庫・大路次川、田尻川、余野川、勝尾寺川などで工事を予定しています。



写真-3.25 河道の堆積土砂除去例 一庫・大路次川(能勢町宿野) (左：除去前、右：除去後)

②老朽化護岸

河川堤防（護岸・河床）については、建設から50年近くが経過し著しく老朽化している箇所があります。局所的な補修では対応できないため、区間を定めて計画的に改築・更新を行っています。

今年度は、千里川(豊中市向丘二丁目)、箕面川(箕面市瀬川二丁目)、余野川(豊能町川尻)などで護岸・河床の改修工事を予定しています。



写真-3.26 護岸・河床改修例 千里川(豊中市本町九丁目) (左：改修前、右：改修後)



写真-3.27 今年度工事予定箇所 (左：千里川(豊中市向丘二丁目)、右：箕面川(箕面市瀬川二丁目))

③砂防施設

溪流保全工は、建設から 50 年が経過している施設があり、大きな出水があると損壊する場合があります。その際は、速やかに補修を行い、機能復旧を図ります。

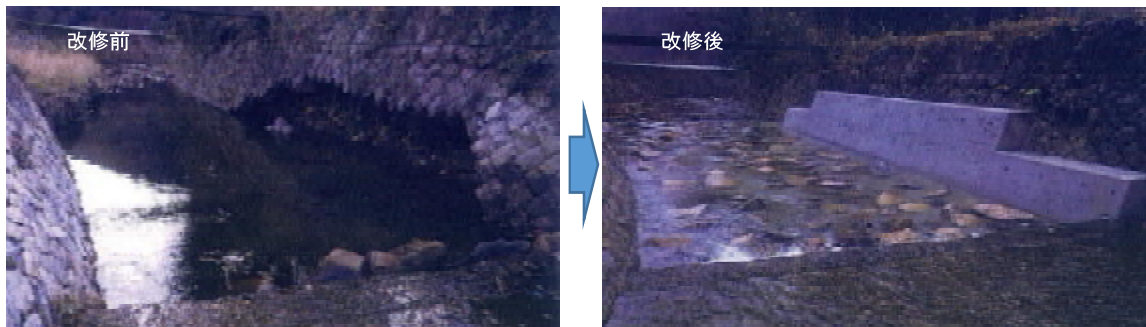


写真-3.28 溪流保全工補修例 讓川（能勢町宿野） 左：補修前 右：補修後

3-3-3. 施設管理

①パトロールによる適正な施設管理

道路、河川について定期的なパトロールを行い、道路の落下物や不法投棄等の回収を迅速に行うとともに、不法占拠を早期に発見し、適宜指導を行うなど、施設の適正な管理に努めています。



写真-3.29 不法占拠対策例 天竺川 左：対策前 右：対策後

②直営作業

日常パトロールや通報などにより発見した不良箇所のうち、すぐに対応が必要な場合や、比較的小規模な場合は、事務所の直営班にて、施設修繕、舗装補修、側溝清掃、倒木除去、除草等の作業を行っています。



写真-3.30 横断防止柵の塗装（左：塗装前、右：塗装後）



写真-3.31 防草対策 左：対策前 右：対策後

③維持管理施設の整備

豊能地域の北部では、冬季に道路の凍結等に対して雪寒対策を実施しています。一方で、凍結防止剤等の資機材の保管場所が十分でないこと、必要箇所への運搬に時間を要することなどから、この地域に一定規模の保管場所を確保することがかねてからの課題でした。

豊能町木代地区で平成 26 年 2 月に発生した土砂崩落による土砂流入箇所の一部を道路維持管理施設として復旧・整備することとしており、そのための基盤整備を進めています。



図-3.14 維持管理施設 位置図

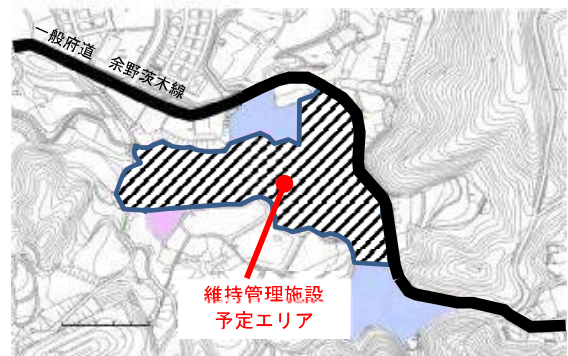


図-3.15 維持管理施設 予定エリア

3-3-4. 他機関関連

豊能地域維持管理プラットフォーム

大阪府都市基盤施設長寿命化計画では持続可能な維持管理の仕組みとして、地域ごとに施設管理者や大学が連携する場「プラットフォーム」の設置が位置づけられています。

豊能地域では「豊能地域維持管理連携プラットフォーム」の運営を通じ、都市基盤施設の適切な維持管理の推進に大学や管内 3 市 2 町と連携して取組んでいきます。

表-3.1 豊能地域管理プラットフォーム 構成団体

管内市町	豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
大学	大阪大学大学院工学研究科
大阪府	北部流域下水道事務所、池田土木事務所【事務局】